

**製品名: プロヒビチンウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21551**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:30kD;Observed MW:30kD

**抗原情報**

遺伝子名	PHB
別名	PHB;Prohibitin
遺伝子 ID	5245.0
SwissProt ID	P35232
免疫原	ヒトプロヒビチンの合成ペプチド

**背景**

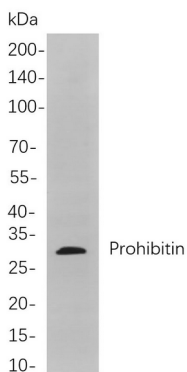
細胞局在: 細胞質プロヒビチン(PHB) ホモ・サピエンス この遺伝子は進化的に保存されており、その産物はヒト細胞老化および腫瘍抑制に関与することが示唆されている。抗増殖活性は3' UTRに局在することが報告されており、これはトランスアクティング制御

RNAとして機能することが示唆されている。この遺伝子には複数の偽遺伝子が同定されている。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2013年7月]

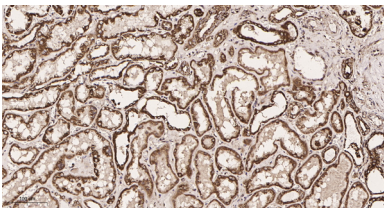
## 研究分野

-

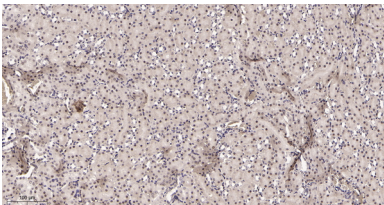
## 画像データ



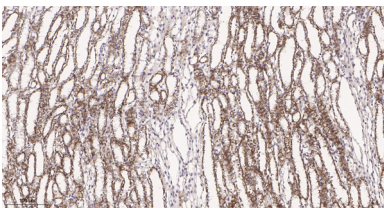
A549細胞のライセートのウェスタンブロット解析 (Prohibitin Rabbit mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。



パラフィン包埋ヒト腎臓組織の免疫組織化学分析。1、プロヒビチンウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋マウス腎臓組織の免疫組織化学分析。1、プロヒビチンウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ラット腎臓組織の免疫組織化学分析。1、プロヒビチンウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。